

損保ジャパン記念財団 NEWS

- 2014年度事業の計画
- 2013年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催
- 第15回損保ジャパン記念財団賞 贈呈式を開催
- 2013年度 海外助成 贈呈式を開催
- 財団からのお知らせ

発行者

公益財団法人損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル TEL : 03-3349-9570 FAX : 03-5322-5257

http://www.sj-foundation.org/ Eメール : sjf3340@sj-foundation.org

2014年度

Vol.

1

2014年度事業の計画～社会福祉事業

2014年度は、以下の事業を実施します。

事業名 (募集時期/予算)	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
自動車購入費助成 (6月2日～7月15日/総額1,000万円) 《募集集中》	主として障害者の福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成します。 ※1件100万円(上限)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体 ※ただし、加齢に伴う障害者(高齢者)の福祉活動団体は除く。 ・西日本地区に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 (9月～10月/総額1,500万円)	「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成します。(予算900万円) ※1団体50万円上限、20団体程度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・北海道、東京、中国、四国、九州、沖縄の6地区に所在する団体
海外助成 (9月～10月/総額400万円)	地域の社会福祉に資する活動を行うための資金を助成します。 ※1件100万円(上限)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・全国で募集
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する活動を行う非営利団体 ・ASEAN加盟国、インドに本部を置く団体 ※推薦が必要です。



＜2013年度自動車購入費助成先 NPO法人 海がめ(栃木県)＞



＜2013年度NPO基盤強化資金助成先 NPO法人 フレンドシップ・イルカ(静岡県)＞

【6月より募集開始】2014年度自動車購入費助成

2014年度は、西日本地区※を対象に「自動車購入費助成」の助成先を募集しています。

募集期間は2014年6月2日(月)から7月15日(火)です。

詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

※西日本地区とは、以下の都道府県です。

滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄



2013年度 NPO基盤強化資金助成 贈呈式を開催



各地で助成金の贈呈式が開催されました。

特定非営利活動法人 JETOみやぎ(宮城県)

<認定NPO取得資助成>

- 東日本大震災で、保護者を亡くした宮城県内の子ども達に、支援金の給付をしている団体です。給付の原資として、個人や法人からの寄付を受けやすくするために、認定NPOの取得を目指されています。



<損保ジャパン仙台支店長・重清さんと訪問(2月18日・仙台市)>

特定非営利活動法人 ハートフル(群馬県)

<認定NPO取得資助成>

- 2月の記録的な大雪には、2時間歩いて、安否確認をかねた弁当配達をされたそうです。認定NPOの取得により、さらに地域に根ざした障害者福祉・介護事業をしたいと決意を新たにされていました。贈呈式には群馬県NPO・多文化共生推進課課長、群馬県社会福祉協議会・岩崎常務理事なども出席され、地域からの期待の大きさが伺えました。

(損保ジャパン群馬支店・山出あゆみさん記)



<損保ジャパン群馬支店長・浜村さんと訪問(2月21日・高崎市)>

特定非営利活動法人 とら太の会(熊本県)

<認定NPO取得資助成>

- 山下理事長からは、「障害児・者の自立支援、相談を30年間行ってこられたのは、多くの支援者のおかげです。認定NPOの取得による寄付控除で、寄付者の善意に少しでも応えていきたい」とご挨拶がありました。



<子ども達からの贈り物>



<損保ジャパン熊本支店長・吉行さんと訪問(3月14日・八代市)>

特定非営利活動法人 白浜レスキューネットワーク(和歌山県)

<組織の強化の助成>

- 白浜レスキューネットワークが運営するレストラン「まちなかキッチン」で、助成金の贈呈式を開催しました。藤藪理事長は白浜三段壁で自殺を考えてられる方を保護し、生活支援・自立支援を行っています。優しく、あるときは毅然と接する姿に社会の隙間で苦しんでいる多くの人が助けられています。助成金は、NPOへの寄付システム構築や、収支管理を円滑に行う会計システムの整備に使われます。



<損保ジャパン和歌山支店長・倉田さんと訪問(4月11日・白浜町)>

特定非営利活動法人 フレンドシップ・イルカ(静岡県)

<事業活動の強化の助成>

●助成先であるフレンドシップ・イルカは、お菓子作り事業を通じて、障害者の自立・就労を支援しています。露木理事長は、利用者ひとりひとりの目標を壁に掲示したり、現在は事業所を離れて働いているOBにも電話で近況を確認するなど、細やかな対応と心配りをされている素敵な方でした。「助成金で購入したパソコンを使い、情報発信を強化し、売り上げ増につなげていきたい」とお話しされていました。

私たち企業も、障害のある・なしに関わらず、住み良い地域社会をつくっていくことに協力することが大事だと感じました。財団の助成金制度は知ってはい



<服部紘子さん>



<損保ジャパン静岡支店長・中辻さんと訪問(2月21日・三島市)>

ましたが、実際に助成先を訪れ利用者の方とお話することで、助成金がどのように役立っているのかが実感することが出来ました。

(損保ジャパン静岡支店・服部紘子さん記)

特定非営利活動法人 MotherKitchen(愛知)

<事業活動の強化の助成>

●石山代表理事は、障害のある方が、地元の野菜で地域の高校生のお弁当を作る「高校ランチ革命」に取り組んでいます。助成金で、保温機能がついた弁当箱が購入されました。訪問した日は、早朝から7人のスタッフが360食をつくり、3つの私立高校に届けていました。今後は、高校の中にキッチンをつくり、日常的に交流する中で障害者への理解を深めていきたいとお話されていました。

<記念財団・丹保が訪問(4月10日・愛西市)>



★今日のメニュー★

スコッチエッグ、夏野菜の照り焼き、きのこチンゲン菜のオイスターソース炒め、梅レンコン、きゅうりのピリ辛漬け、トマトゼリー
(どれも、とってもおいしそうです。)



第15回損保ジャパン記念財団賞の贈呈式を開催



社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第15回損保ジャパン記念財団賞」の贈呈式を2014年3月18日に損保ジャパン本社ビルで開催しました。

受賞者の水島治郎氏(千葉大学法政経学部教授)からは「オランダのみならず先進諸国で進展する『包摂』と『排除』の構造を明らかにし、現代福祉国家の抱える光と影を描き出すことを試みました。福祉・労働分野の方々をはじめとして、予想外の幅広い分野から反響がありました。この本が、再編の進む福祉国家のあり方を解明し、現代に生きる私たちの『立ち位置』を理解する一助となれば幸いです。今回の受賞を励みとして、一層努力を重ねて参りたいと存じております。」とのお挨拶がありました。

受賞者及び文献要旨を財団ホームページに公開しています。是非ご覧ください。

また、受賞記念講演会とシンポジウムを2014年9月20日に、グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)で開催します。テーマは「日本での障害者のソーシャルインクルージョンの課題と展望—国連の障害者権利条約への批准をふまえて—」日本での障害者を社会が受け入れるソーシャルインクルージョンを、現状での課題をもとに今後どのように展開していくべきかを、多面的な角度から検討します。只今、参加者募集中です。詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

<<http://www.sj-foundation.org/>>

第15回「損保ジャパン記念財団賞」贈呈式



<水島治郎氏と佐藤理事長>

2013年度 海外助成 贈呈式を開催

助成先のマレーシア、フィリピン、タイの3カ国で、助成金の贈呈式が開催されました。贈呈式は各助成先団体のスタッフや利用者、JICA、障害者団体など関係者の参列をえて開催され、その様子は地元紙にも掲載されました。

ソルト・パヤタス（フィリピン）

- マニラ郊外リーサル州の政府の再定住地モデル地区にある「子どもエンパワメントセンター（児童館）」の改修事業に助成をしました。この地域は、マニラ首都圏のスラム地区に住んでいた人が、再開発の立ち退き命令により15年前に移り住んできた再定住地です。センターの改修を心待ちにしてる地域のお母さんや子ども達が大勢集まって贈呈式を開催しました。

事務局長の小川恵美子さんの地域子どもたちに対する教育への思いと、粘り強い活動のご努力が、地域の皆さんの自立を促し、真の交流につながっていると感じました。



<2月13日贈呈式を開催>

オーティズム アソシエーション(シンガポール)

- 18～55歳の自閉症の方を対象にした大人向けのセンターでは、職業訓練や生活訓練などが行われています。助成金は、体力向上と体調管理を目的としたスポーツプログラムの新設に使われます。

助成金贈呈式では、テネット損害保険（損保ソンプジャパン現地法人）CEOのステラ・タンさんが、同団体の副理事のジャミル・アミンさんに助成金を贈呈しました。



<3月6日贈呈式を開催>

アジア太平洋障害者センター財団(タイ)

- タイ社会開発人間の安全保障省の敷地内で、アジア太平洋障害者センター（APCD）が行う「障害者の社会参加・就労促進を支援するカフェ事業」に助成しました。

APCD、JICA、タイ政府社会開発・人間安全保障省、またタイの障害者団体の代表の方々が参加され、盛大に贈呈式が開催されました。二宮所長からは「今回の助成金で始める事業は、アジアの障害者の自立支援のモデルプロジェクトとしての第一歩とし、将来的にはメコン川流域の地区にも、広げていきたい。」とのお挨拶がありました。



<2月12日贈呈式を開催>

☆☆財団からのお知らせ☆☆

★2015年4月に損保ジャパン日本興亜福祉財団となります。

損保ジャパン記念財団と日本興亜福祉財団は、2015年4月1日に合併し、公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団になる予定です。2014年6月2日、両財団は合併契約を締結しました。

日本興亜福祉財団は、1991年7月25日に日本火災海上保険株式会社（現日本興亜損害保険株式会社）の創業100周年を記念して設立されました。主に高齢者福祉に関する事業をおこなっています。

（今後の財団ニュースで、事業の内容などをご紹介してまいります。）

★叢書84号「第14回（平成24年度）損保ジャパン記念財団賞受賞記念講演録」を発行。

当財団ホームページに全文を掲載していますので、どうぞご覧ください。

また、冊子をご希望の方は当財団までご連絡ください。